

単元名 (選択単元)水産業のさかんな地域

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 日本の水産業は、自然条件と深い関わりがあることや、水産業に関わる人々の工夫や努力を理解するとともに、地図帳や各種資料で調べ、報告書などにまとめることができる。
- (2) 魚種の分布や主な漁港の水あげ量、作業工程、技術の向上、輸送、人々の協力関係などに着目し、水産業の概要と生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、水産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。
- (3) 水産業の概要や生産に関わる人々の工夫や努力などについて、学習問題の解決に向けて意欲的に追究しようとする。

標準的な展開例

05030107_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 食生活の中で口にしている水産物について話し合い、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食生活の中でどのような水産物を食べているかを発表する。 ○水産物について知っていることを話し合い、単元の学習問題をつかむ。 ★水産業で働く人々は、どのような工夫や努力をしているのだろう ○学習問題について予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本は海で囲まれているから、近くで魚を獲っていると思う ・新鮮な魚を運ぶためにどのような工夫をしているのだろう ○予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容…漁場、漁港、漁業の種類 ・調べる方法…教科書、図書資料、インターネット ・表現の仕方…報告書 <p>2 水あげ量が多い漁港や日本近海の漁場について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書P.92「おもな漁港の水あげ量と海流のようす」を見て気が付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・銚子漁港の水揚げ量が多い ・暖流と寒流がぶつかっている ○日本の周りの海が恵まれた漁場になっている理由について話し合う。 <p>○銚子漁港について、調べたいことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚をどのようにとっているか ・漁港はどんなことをする場所か <p>3 どのように漁業を行っているのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻き網漁について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・3種類の船で漁を行う ・魚群探知機を使う ・網で囲み底を閉じて引き上げる ○漁をする人々の工夫や努力について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・天候や漁場の情報を入手しながら漁を行う ・費用を減らすための工夫をしている <p>4 銚子漁港の様子と輸送について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○銚子漁港について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・広い範囲にいろいろな施設がある ・卸売市場が三つもある ○教科書P.96「銚子漁港の水あげの内わけ」のグラフから読み取れることを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・サバやマイワシの水あげが多い ○漁港の役割についてまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・魚を選別している ・水産物の加工も行っている ○魚がわたしたちの元へ届くまでを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・品質を保つための温度管理が重要 ・外国へ船で輸出される魚もある <p>5 のりの養殖について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○佐賀県佐賀市の、のりの養殖について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・有明海は流れ込む川の栄養分が豊富 ・干満の差があるので、海水の栄養と太陽の光を代わる代わるに吸い込むことができる ○のりの養殖の方法について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産物には多くの種類があり、たくさん消費していることに気付かせる。 <p>【評】水産業について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.90～102で、学習の内容を大まかにとらえさせる。 ・新聞で表現させてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・「水あげ量」と「海流」の説明を行ってから資料を読み取らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「プランクトン」と「大陸だな」の説明を行ってから考えさせる。 ・暖流と寒流が流れていることや大陸だなが広がっていることで、魚介類の種類が豊富なことを押さえる。 <p>【評】日本近海の漁場の特徴を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水あげ量が日本一多い銚子漁港に注目させ、水産業のようすを調べるきっかけとする。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.94「キーワード」で、「遠洋漁業」「沖合漁業」「沿岸漁業」「養殖業」の意味を理解させてから、巻き網漁の方法を調べさせる。 ・魚群探知機の仕組みを補説する。 ・教科書P.95「大西さんからの話」を参考にまとめさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳で千葉県銚子市の位置を確認させる ・教科書P.96の航空写真から読み取らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・水揚げされる魚の写真を用意しておく。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.97の各種写真を参考にまとめさせる <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.98「魚がわたしたちのもとへとどこまで」や本文の記述を基に調べさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳や教科書で佐賀県佐賀市の位置を確認する。 ・有明海がのりの養殖に適していることを押さえる。 ・教科書P.101「のりの養しょくのこよみ」や

<ul style="list-style-type: none"> ・刈り取りの時期が2回ある ・のりが傷んでいないか，病気をしていないか観察している ○養殖が盛んな地域や養殖されている水産物について調べる。 ○養殖業のよさと問題点について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に安定した収入を得ることができる ・赤潮や海の汚れの影響を受けてしまう <p>6 単元の学習を振り返り，日本の漁業についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漁業のようすや水産業に関わる人々の工夫や努力，水産業とわたしたちの生活の関わりを報告書にまとめる。 	<p>本文の記述を基に調べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.102「養しよく業のさかんな地域」「養しよくのしめるわりあい」を基に調べさせる。 ・よさと問題点を予想させた後，教科書P.102の本文の記述を基に調べさせる。 ・「赤潮」の発生について補足する。 <p>【評】報告書にまとめる活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</p>
---	---

【 備 考 】

本単元は選択単元であり，標準的な展開例では「水産物」を取り扱っている。教科書P.104～109の「畜産業のさかんな宮崎県」を活用して「畜産物」を選択したり，教科書P.110～111の「くだもの作りのさかんな和歌山県」を活用して「果物」を選択したり，教科書P.112～113の「野菜作りのさかんな高知県」を活用して「野菜」を選択したりしてもよい。